

機能性表示食品開発に長年にわたり携わってきた講師がお教えします！

# おさえておきたい！『機能性表示食品開発の基礎と実践』

～ 失敗談も交えながら、一連の流れの中における勘所を解説！ ～

○と き：令和5年1月23日（月）（10:30-16:30、昼休憩 12:30-13:30、 講義 5 時間 1 日集中）

○ところ：オンライン開催

○ご参加いただきたい方々：商品企画、研究開発、研究機関の研究者、企業の代表者及び研究開発部門責任者

○講師：三井 雅之 氏（三井コンサルティング 代表）

獣医師・医学博士・気候療法士リーダー。医薬品製造会社、食品ヒト臨床試験受託会社を経て、2005年に三井コンサルティングを設立し、医薬品、機能性食品の開発・申請に関するコンサルティングを行う。

## ◆研修のおすすめ

2015年に開始された機能性表示食品制度は、中小企業も容易に参入できるようにした制度です。2020年度には市場規模も約3,000億円となり、消費者の間でも認知度がかなり高まってきました。

企業にとって大きなチャンスとなりうる機能性表示食品ですが、ヒット商品を生み出すためには明確なビジョンと、困難を乗り越えて行く強い信念や実践力が必要です。

本講座では、機能性食品開発に長年携わってきた経験を踏まえ、幾つかの失敗談を織り交ぜながら、商品の企画・開発・販売までの一連の流れの中におけるポイントについて解説いたします。皆様方の積極的なご参加をお待ちいたします。

## ◆研修を通じて得られること

- ・ 特定保健用食品・機能性表示食品の法令やそれぞれの特徴
- ・ 保健機能食品の開発や機能性表示食品の臨床試験の基礎について
- ・ 機能性表示食品の開発に必要な非臨床試験等についての実践的な知識

◆カリキュラム

10:30   12:30	1. はじめに・機能性表示食品の基礎知識 (1). 機能性を表示できる食品      (2). 保健機能食品の概要 2. トクホ(特定保健用食品)と機能性表示食品の現状 (1). 市場の推移      (2). 承認・届出数推移 3. トクホと機能性表示食品の違い (1). 大まかな違い      (2). それぞれのヘルスクレームカテゴリー 4. 機能性表示食品制度のまとめ (1). 法的規制      (2). 機能性表示食品としての評価内容
13:30   16:30	5. 機能性表示食品の開発のステップ 6. 届出ガイドラインに沿った具体的実施試験 (1). 非臨床試験      (2). 臨床試験      (3). 物性に関する試験 7. 届け出後に必要なこと (1). 販売商品を例に      (2). まとめ 8. 視点を変えて機能性表示制度を観る (1). 自社内での臨床試験実施      (2). 失敗例に観る 9. 仮想開発 (1). 仮想成分で開発を考えてみよう! 10. 質疑応答

◆ご参加要項

- **参加費 (1名様、消費税含む)** : 三重 TLO 会員の方 27,500 円、三重 TLO 会員以外の方 33,000 円  
 ※ ご参加人数分の請求書をお送りいたします。参加費は、受講日の前日までに指定口座お振込み願います。

- **申込方法** : 下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXで申込みいただくか、

[弊社ホームページ](#)よりお申込み下さい。

[QRコードからのお申込み](#)→



- **申込締切** : 令和5年1月16日(月)

- **問合せ先** : 株式会社三重ティーエルオー 技術セミナー担当

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学内 TEL 059-231-9822

- **備考** : 参加費の請求書と参加人数分のテキストを則く申込責任者へお送りさせていただきます。

開催日の1週間前に、**受講用の<URL, ID、パスワード>**をく申込責任者へメールにてご連絡いたします。

コンサルタント、教育機関等のお申し込みはお断りします。本講座の録画・録音は禁止いたします。

やむを得ぬ諸事情により内容等を変更する場合がございます。ご了承願います。

※以下にご記入いただいた個人情報、当社のプライバシーポリシーに沿って管理し、本セミナーに係る受講案内、参加費請求および講師による受講者の把握ならびに当社が開催する研修・セミナーに係る情報発信の目的でのみ利用します。

おさえておきたい『機能性表示食品開発の基礎と実践』(1/23) 参加申込書 令和 年 月 日

<申込責任者>

貴社名	所属・役職名	お名前
電話番号	E-mail	
住所：〒		

<参加者> (3名様からはコピーしてご利用ください。)

所属・役職名	お名前

FAX 059-231-9829 三重 TLO 技術セミナー担当 行き